

科目名	数学概論 I			担当教員	南貴之		
学年	4 年	学期	通年	履修条件	選択	単位数	1
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	07G04_20240		
学習目標	一変数および多変数の微分積分学の復習を通じて学力の向上を図り，編入学生の勉学を助けると共に大学へ編入学するのに十分な実力を養成する。						
進め方	問題を解く練習を通じて既習内容の復習・補完をし，数学の学力の向上と定着を図ると共に本校への編入学生・大学へ編入学を希望する学生の指導に資する。						
履修要件	特になし						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1.数列の収束・発散（その1）(1) 2.数列の収束・発散（その2）(1) 3.関数の極限（その1）(1) 4.関数の極限（その2）(1) 5.微分法の応用（その1）(1) 6.微分法の応用（その2）(1) 7.微分法の応用（その3）(1) ----- 8. 前期中間試験(2) ----- 9.不定積分の計算（その1）(1) 10.不定積分の計算（その2）(1) 11.定積分の計算（その1）(1) 12.定積分の計算（その2）(1) 13.広義積分（その1）(1) 14.広義積分（その2）(1) 15.広義積分（その3）(1) ----- 16. 前期末試験(2) ----- 17.積分の応用（その1）(1) 18.積分の応用（その2）(1) 19.積分の応用（その3）(1) 20.積分の応用（その4）(1) 21.偏微分の計算（その1）(1) 22.偏微分の計算（その2）(1) 23.偏微分の計算（その3）(1) ----- 24. 後期中間試験(2) ----- 25.偏微分の応用（その1）(1) 26.偏微分の応用（その2）(1) 27.偏微分の応用（その3）(1) 28.重積分の計算（その1）(1) 29.重積分の計算（その2）(1) 30.重積分の応用（その1）(1) 31.重積分の応用（その2）(1) ----- 32. 学年末試験(2)			数列や級数の収束・発散の判定や極限の計算およびそれらの応用ができる。D1:4 関数の極限の計算およびそれらの応用ができる D1:4 一変数関数の微分が計算でき，それらの応用ができる。D1:4 一変数の積分の計算およびそれらの応用ができる。 D1:4 多変数関数の微分が計算でき，それらの応用ができる。D1:4 重積分の計算およびそれらの応用ができる。D1:4			
評価方法	定期試験 90%，レポート等 10%の比率でを総合的に評価する。						
関連科目	微分積分学（2学年），微分積分学（3学年）						
教材	プリントによる問題集，1年から3年までに使用した教科書および問題集						
備考	特になし						